



令和5年度定例総会



第 60 号

令和六年一月一日発行

奈良県橿原市久米町九三四

奈良県神社庁内

発行所 奈良県神道青年会

電話〇七四四一二四七三

編集者 広報 部



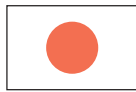
高鴨神社
 会長 挨拶
 補宜 鈴鹿 迪胤

此度、令和五年度定例総会におきまして久保田昌伯前会長の後を受け、奈良県神道青年会第二十九代会長に就任致しました高鴨神社補宜の鈴鹿迪胤です。

もとより浅学菲才の身ではありませんが、先輩諸兄の想いを引継ぎ、理事役員と共に当会の発展に寄与すべく力を尽くす所存です。

さて、昨年五月には新型コロナウイルス感染症が五類感染症へと移行され、社会も徐々に活気が戻ってきました。斯界に於いても祭りや行事を今まで通りに行う神社が増え、参拝される方々も増えている事かと存じます。

当会におきましても本年度は禊・鎮魂錬成研修会や南都聖和会との交流会をはじめ、家族会やスポーツ大会等の懇親事業を含めた恒例事業の全てを再開する事が出来ました。また、九月には英霊顕彰事業として、奈良県護国神社の清掃奉仕並びに宮田宮司様を講師にお迎えした研修会を実施致しました。やはり、会



祝祭日には
 国旗を
 揚げましょう

災ひより立ち上がらむとする人に

若きらの力

希望もたらす

皇后陛下御歌

員同士が直に顔を合わせ、歩調を併せてひとつの事業を為す事で会の結束は強くなると感じています。

また来年度は神道青年全国協議会が創立七十五周年、近畿地区連絡協議会が設立三十周年、そして当会においても創立六十周年を迎えるという慶事が重なる年であります。理事役員を中心として創立六十周年実行委員会を立ち上げ、令和六年九月四日に予定をしております記念大会や記念事業の実施に向け、検討・準備を進めております。併せて近畿地区連絡協議会の当番県、皇居勤労奉仕『青垣奉仕団』の実施も予定しており一杯取り組んで参ります。事業の中止が続いたからこそ、周年に向けて先輩諸賢の歩みを振り返る機会を得たことは現会員に取りまして大変意義のあるものと実感しております。

最後となりましたが、わが国はじまりの地である奈良県から今を照らす事業に役員をはじめ会員皆が微力ながらも努力して参る所存です。周年事業を含む青年会活動は関係各位のご理解、お力添えがなければ成り立たず、皆様方にはより一層のご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます、挨拶とさせていただきます。

前会長挨拶

大神神社 権禰宜 久保田 昌伯



令和三・四年度会長を務めさせていただきました大神神社権禰宜の久保田昌伯です。

令和五年五月の定例総会をもって鈴鹿迪胤君に会長のバトンを渡して、半年以上の月日が流れました。私が会長の職を務め、任期を終えることができましたのも理事役員、諸先輩関係各位のお陰によるものと感謝申し上げます。

さて、思い返しますと、会長としての二年間は、コロナ禍からの脱却を模索し、事業を含め全てではありませんが、コロナ禍以前の開催方法に戻すために話し合いを重ねた時期であったと思います。

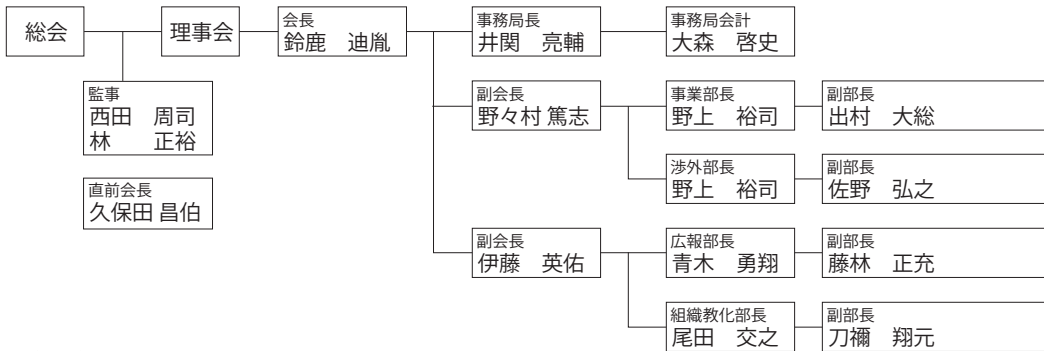
その中で令和四年は、宮崎県神道青年会との姉妹神青締結十周年を迎えるにあたり、令和三年四月の会長就任時より宮崎県三役の皆様とのリモートでの交流会が始まり、姉妹神青締結の記念事業について意見交換し、お互いのリモート事業に参加するなどこれまで以上に姉妹神青交流を行うことが出来たのではないかと思います。

そして、会長任期も一年を過ぎた頃理事役員皆様の理解もいただき、リモートでの役員会から参画しての役員会、事業を実施してゆくこととなりました。この最初の役員会では皆が久しぶりに顔を合わせ、議事に加え様々話す雰囲気懐かしさを感じたところがございます。

この青年会の活動には時間の限りがあるからこそ、皆様には関わりを持っていただき、交流を深めていただきたいと思います。

この関わりが増えてゆくことで次の世代へその糸が強く大きくなり繋がってゆくと信じております。令和六年には近畿地区当番県また奈良県神道青年会設立六十周年記念式典等大きな行事を控えていますが、事業を重ね鈴鹿会長を先頭に奈良県神道青年会がまとまりを強くしてゆくと信じております。最後に皆様の活躍をご期待申し上げご挨拶とさせていただきます。

令和5年・令和6年度 奈良県神道青年会 組織図



出向理事

【神道青年全国協議会】 代 議 員：鈴鹿迪胤 伊藤英佑 時局対策員：鈴鹿迪胤 神宮啓発委員：中森典佑	【神道青年近畿地区連絡協議会】 理 事：鈴鹿 迪胤・野々村 篤志 事業委員：林 正裕・刀襦 翔元 相 談 役：西田 周司	【皇居勤勞奉仕推進委員会】 団 長：鈴鹿 迪胤 委員長：尾田 交之 事務局：阿部 裕也 委 員：西田 周司 佐野 弘之 石野 一信	【かたりべまほろば】 団 長：伊藤 英佑 副 団 長：尾田 交之 事務局員：刀襦 翔元 【神宮大麻頒布推進委員会】 委員：尾田 交之 青木 勇翔
---	--	--	--

分掌	会則施行細則第4条による会務の分掌事項	行事予定
事業部	企画・研修・社会奉仕・親睦に関する事項	親睦ゴルフ(8月) 勉強会企画(年3回目安)
渉外部	神青協・近畿神青・友好団体との連繋協賛活動に関する事項	三神青野球(7月) 南都聖和会(11月) 姉妹神青交流事業(未定) 近畿ゴルフ(3月)
組織教化部	青少年団体教化・賛助会員に関する事項	神話紙芝居団かたりべまほろば(随時)
広報部	機関紙並印刷物発行・街頭活動・対外的な広報に関する事項	会報青垣発行(1月)

定例総会

去る令和五年五月十日に奈良県神社庁において、会員二十一名出席のもと、令和五年度定例総会が開催された。

議事では議長に樺山理事が選出され、令和四年度活動報告と令和四年度決算報告、会計監査報告が行われ承認を受けた。次に本年は役員改正の年に当たり、先の臨時総会において承認を受けた鈴鹿新会長より時期の理事役員の報告があり、こちらも承認を受けた。続いて新事務局長から令和五年度活動計画案、新会計より令和五年度会計予算案が提出され、意義無く承認された。

総会終了後、午後六時より檀原神宮養正殿にて懇親会を開催し、来賓として奈良県神社庁参事西口様にご来臨を賜わった。また、令和四年度をもって奈良県神道青年会を卒業される久保田前会長と樋口前事務局長の挨拶では、奈良県神道青年会に対する思いをお話いただいた。新旧役員、会員ともに懇親を深め、来る六十周年に向けて思いを新たにしました。

令和5年・6年度 奈良県神道青年会 理事役員



会 計
大森 啓史
(往馬坐伊古麻都比古神社)



事務局長
井関 亮輔
(春日大社)



副会長
伊藤 英佑
(檀原神宮)



副会長
野々村 篤志
(大神神社)



会 長
鈴鹿 迪胤
(高鴨神社)



理 事
尾田 交之
(彌等神社)



理 事
刀襦 翔元
(石上神宮)



理 事
出村 大総
(大神神社)



理 事
藤林 正充
(大神神社)



理 事
野上 裕司
(大神神社)



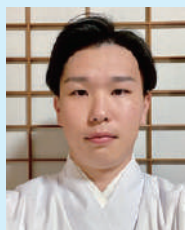
監 事
林 正裕
(荒神社)



監 事
西田 周司
(檀原神宮)



理 事
佐野 弘之
(春日大社)



理 事
中森 典佑
(河分神社)



理 事
青木 勇翔
(檀原神宮)

5/
16・18

上皇上皇后両陛下奉送迎活動



去る、令和五年五月十六日から十八日に上皇
上皇后両陛下におかせられました。御皇室と縁
のある中宮寺への御訪問と、なら歴史芸術文化
村へ御視察に付き、奈良県に行幸啓遊ばされま

した。両陛下が奈良県に行幸啓遊ばされるのは
平成三十一年三月二十六日以来およそ四年ぶり
のこととなります。

当会会員は十六日と十八日の計二日間、日本
会議の方々と共に近鉄奈良駅から県庁前付近に
て国旗小旗を配布するとともに、参加者一同国
旗を振って両陛下を奉送迎致しました。

国旗小旗の配布を始めると奉送迎のために駅
周辺に参集されている方はもちろんのこと、偶
然訪れた方も小旗を受け取られ、あたりは次第
に多くの人で埋め尽くされました。

特に今回は周辺が観光地ということもあり、
多くの海外の方も日本の国旗を手に奉送迎に加
わっていたことが非常に印象的でした。時間と
なり、御料車に乗られた両陛下が手を振られる
と一斉に小旗が振られ、歓声が沸き起こりまし
た。この度の奉送迎活動に二日も参加出来た
ことは私にとりまして非常に幸せなことでした。
両陛下の御来県に感謝するとともに益々の御
皇室の弥栄を心より祈念申し上げます。
(榎原神宮 伊藤)

6/5

神道青年近畿地域
連絡協議会定例総会

令和五年六月五日、ホテル阪急インターナ
ショナルにて神道青年近畿地区連絡協議会定例
総会が開催され当会からは十名の参加があった。
定例総会に先立って行われた研修会では、『大
阪の笑いと文化〜芸人から学ぶ生き様〜』と題
し漫才作家・よしもとNSC講師の本多正識先
生を迎え講話を戴いた。

先生は冒頭、挨拶がいかに大切かを述べられ
た。近年挨拶をおろそかにする人もいるが、元々

「おはよう」は「おはようございます。今日も
一日よろしくお願ひ致します。」の略で、「お
つかれ」も「お疲れ様でした。今日も一日あり
がとうございました。明日もよろしくお願ひ致
します。」の略であり、挨拶から物事は始まる
と説かれた。売れている芸人ほど挨拶をきちん
と行っている、天下の西川きよし氏は全盛期の
頃でも、後輩芸人やスタッフにもきちんと挨拶
をしていたと述べられた。

また、一万人以上の芸人を指導してこられた
経験から、南海キャンディーズの山里亮太の
例を挙げ事前の下準備の重要性も述べられた。
山里氏はいままでこそ有名な芸人だが、よしもと



NSCの頃は本多先生に失格の烙印を捺されるようなマイナスからのスタートであったそうだ。しかし講師への質問内容を事前にノートに記し授業に臨んだり、持ち歩くかばんの中に本・雑誌を多数入れ有事の際に備えたりと、下準備を怠らない方であった。その結果が今の立場を作ったと先生は仰っておられた。

最後に本多先生は「人生にリセットボタンはないけれど、スタートボタンは何度でも押せる」という言葉で講話を締めくくられた。

私達神職も、社頭にて参拝者と話す機会は多い。挨拶をきちんとし、前以て様々な語彙・知識を増やす必要性や、スタートボタンを何度も押し、進歩し続けることの重要性を改めて気付かされる研修会であった。

続いて、令和五年度定例総会が行われ、令和四年度の会務報告並びに決算報告・役員承認等が可決され野上会長の新体制へと引き継がれた。続いて開催された懇親会では参加者同士で歓談をおこない、懇親を深め、賑やかなうちに閉会となった。
(石上神宮 刀欄)

6/6

**神道青年近畿地区連絡協議会
親睦ボウリング大会**

去る令和五年六月六日、親睦野球大会の雨天中止に伴いラウンドワンスタジアム駅前店に於いて親睦ボウリング大会が開催された。

今回は各県の内、スコアの高い上位三名の合計点により優勝を争った。

各レーンがそれぞれ大盛り上がりで進行され、奈良県が昨年の野球大会に引き続き優勝を果たした。大鳥大社にて表彰式並び懇親会が行われ、鈴鹿会長が再び優勝旗を手にした。



五月にコロナウイルス感染症が五類になったことで、多くの会員が集い親睦を深める行事を開催することが出来た。今回の事業に参加したことで改めて、参集して活動をする大切さと有り難さを実感した。来年開催の折には、野球の出来る天候であることを祈っている。
(榎原神宮 伊勢)

6/20

石上神宮禊場清掃奉仕

令和五年六月二十日、石上神宮にて禊場並び



に関連施設の清掃奉仕を行い、鈴鹿会長以下九名の会員が参加しました。清掃奉仕は石上神宮での神道青年近畿地区連絡協議会の奈良県担当事業である禊・鎮魂錬成研修会にあわせ、七年前より行っています。

石上神宮職員の指示のもと、午前中は禊場と禊場参道に分かれての清掃となりました。禊場では高圧洗浄機を使って苔などの汚れを落とし、参道では横に流れる小川も含めて落ち葉や枯れ木の撤去を行いました。午後からは参道の注連



縄を張り替え、潔斎場の水垢を落とす作業をしました。綺麗になった禊場を見ると自分自身も清らかな気持ちになりました。清掃後、禊・鎮魂錬成研修会がより良いものでありますよう戸神社に祈念し事業を終えました。

(河分神社 中森)

7/12・13
禊・鎮魂錬成研修会

去る令和五年七月十二日・十三日の一泊二日、石上神宮にて禊・鎮魂錬成研修会が十七名の参加のもと開催された。

禊を大学在籍中に一度経験しているが、「鎮魂」の経験はなかった。その為、研修を受ける上で「鎮魂」の意義を理解し、実践をもって理解することを自身の課題とし臨んだ。

研修は石上神宮の道上欄宜にご指導頂き、内容は始めに禊・鎮魂の意義、そして一連の流れとその作法を学んだ。この禊・鎮魂は神主の穢れを祓い、身と心を清めるものであると大まかに理解はしていたが、道上欄宜より「禊は「身漱（みそそぎ）」というところからきており、

水の灵力により身体と精神により俗世の余分なもの、穢れを祓い清め、鎮魂はその禊によって奮い立つ身体、精神を落ち着かせるために、様々な詞を奏上して祭祀に臨める状態にする。」と説明して頂いたことで、より理解を深めることが出来た。

次に、実際に



禊を行い、拝殿にて鎮魂並びに神拝行事を行った。禊場という自然に囲まれた中で、全員で力強く発声する鳥船行事や雄健行事といった行法では、参加者全員の声が一体となって自然の中に響いた。その感覚が今でも残っており、とても崇高な体験が出来た。その後の鎮魂では、大祓詞に加え、十種祓詞、ひふみ祓詞、十種神寶大御名といった様々な詞を斉唱した。そして石上神宮に古くから伝わる「布留部神業（ふるべのかむわざ）」という行を行った。これは、手の中に石上神宮にまつわる十種の寶を手の中に収め、振ることで災い諸々を祓い除ける力を授かる。この行の作法は安座という慣れない姿勢で長時間行うため、厳しいものであったが、他では出来ない貴重な経験をする事が出来た。

その後、勉強会が開かれた。講師に『税理士法人あおば』の代表税理士である松尾潤先生をお招きし、「税理士から見た中小企業の挑戦」という課題で、講義を戴いた。現在の日本の経済状況はコロナ禍から回復しているが、中小企業はコロナ融資による返済や、賃上げの波による影響により、厳しい状況であることを認識した。この情勢の中でご参拝の方々をお迎えするに当たり、一層丁寧な対応を心掛けなければと改めて思った。

二日目は、早朝に境内の清掃、そして二回目の禊と鎮魂の行法を行った。その後、石上神宮の社頭の案内をして戴いた。石上神宮の拝殿は国宝指定されており、その昔、宮中の神嘉殿であったものを寄進戴いた建物である。その拝殿で鎮魂の行をさせて頂いたことは、とても貴重なことだと改めて思った。

この研修で、最初に道上欄宜より「神道を感じる宗教である。この禊・鎮魂も実践し体験す



る物だからそこから何かを感じてほしい。」とお話があり、この二日間を感じることに重点を置いて過ごすように心掛けた。そして、禊・鎮魂を経験させて戴き、清らかな状態で神職として神明奉仕を行うことの大切さを再認識することが出来た。この研修で得られたことを活かして、一層神明奉仕に精進していきたい。

(大神神社 柿坂)

7/18

令和五年度京都・奈良・
神宮親善野球大会



去る令和五年七月十八日、三重県多気郡の大仏山公園野球場に於いて、会員三十九名出席のもと、令和五年度京都・奈良・神宮親善野球大会が開催された。

四年ぶりの開催ということもあり、会員同士が顔を合わせた際、昔を懐かしむ者、新しい顔ぶれに戸惑う者、自己紹介をはじめの者と、三者三様の光景がみられた。

当日は快晴に恵まれるも、最高気温三十八度を記録する猛暑日となった。体調面が特に心配

されたが、インニング間の休憩、こまめな水分補給等、神宮青年会の皆様のご配慮により体調不良者を出すことなく、無事野球大会を行うことができた。

第一試合、神宮青年会と奈良県神道青年会が対戦。奈良神青が初回に先制したが、神宮青年会が中盤追いつき、その後は互いに譲らず引き分けとなった。

第二試合、神宮青年会と京都府神道青年会が対戦。一進一退の攻防となったが、最終回に神宮青年会が逆転サヨナラにて勝利をおさめた。

第三試合、京都府神道青年会と奈良県神道青年会が対戦。京都神青は連戦で疲弊していると思われたが、投打が噛み合い試合を有利に進めた。奈良神青は最終回に鈴木会員がホームランを打つもおよばず、京都神青が勝利した。

全試合、相手味方問わず声を掛け、鼓舞し、時折笑いも起こる、すばらしい雰囲気であった。試合後は神宮会館へと移動し、懇親会が行われた。懇親会では、

試合の慰労とコロナ禍で出来なかった対面での情報交換を行い、コロナ以前の状態へと戻ってきたように感じた。

今回は勝てなかったが、来年は当番県となる為、試合はもちろんのこと、おもてなしでも勝てるよう団結したい。

(石上神宮 大塚)



8/16

神話紙芝居
「かたりべまほろば」公演



令和五年八月十六日に神話紙芝居団「かたりべまほろば」の公演を「東市高円の杜夏祭り」の催しとして、奈良県護国神社にて行いました。

新型コロナウイルスの影響でこのお祭りでの公演は四年ぶりとなりました。この度は「イザナギとイザナミ」の演目を行いました。

屋外であった為声が伝わりづらく、大きな声でゆっくりと話す事を心掛けました。また、子供には少し難しい内容ではありましたが、子供達には集中をして公演を見てもらう事が出来ました。

皆様に神話を身近に感じてもらい、より興味を持っていただける様に、これからも活動を続けていきたいと思えます。(等彌神社 尾田)

8/24

親睦家族会

令和五年八月二十六日に吉野郡川上村の中井溪谷自然塾にて三年ぶりに親睦家族会を開催しました。

今回の親睦家族会では、大人から子供まで全員が楽しく過ごせること、子供たちにとって学びがあることの二点を念頭に置いて「バーベキュー」と「魚のつかみ取り」を行いました。

当日は天候の心配があったものの大人二十名、子供十七名の合計三十七名と多くの参加を得ることが出来ました。

親睦家族会は鈴鹿会長の挨拶により始まり、さっそく子供達には一番大きな魚を捕まえた人が優勝というルールで「魚のつかみ取り」を行って頂きました。魚の活きが良すぎて子供だけでは捕まえられず、大人の協力も必要となりましたが、結果として家族で参加出来たのではないかと思います。簡単な表彰式を行い、取った魚はバーベキューの食材として皆で頂きました。その後もバーベキューをしながら一日中水

遊びを楽しみました。

神道青年会の活動を行っていく中で会員同士の繋がりは強いものになっていきます。しかし、その一方で家族と過ごす時間が少なくなってしまうことがあります。親睦家族会は家族で参加して頂くことにより、家族にとって良い思い出となるだけでなく、家族に神道青年会の活動を理解してもらおう場もあると思います。来年は本年以上に多くの家族が参加し、より良い事業になればと思っております。

(檀原神宮 伊藤)



8/28

奈良県神社庁長杯
親睦ゴルフ大会



去る令和五年八月二十八日宇陀カントリークラブにおいて奈良県神社庁長杯親睦ゴルフ大会が開催となりました。

コロナ禍による規制も緩和され、実に四年ぶりの開催ということでした。雲行きの怪しい中ではありましたが、幸い雨に見舞われることなくプレーすることが出来ました。今回はOBの先輩方四名を交え、総勢十九名が集つての大会となりました。

開会の辞に続き、始球式が行われるとそれぞれの組に分かれラウンドが開始しました。私は初めてのコンペ参加でしたが、和やかな雰囲気でのラウンドであり、美しいコースを堪能出来、好プレー、珍プレーが数多く飛び出すなど皆終始笑顔で溢れており、初めてのゴルフをとても楽しませていただきました。

表彰式では上位入賞者、各賞受賞者の発表とともに景品が贈呈されました。

会員同士の交流を深め、先輩方ともご縁を頂けた良い機会となりました。日々の社務に励みつつ、次回の開催に向けて腕を磨いていきたいと思っております。

(大神神社 関本)



9/15

英霊顕彰研修会

去る令和五年九月十五日に奈良県護国神社において英霊顕彰研修会として清掃奉仕を行いました。当日は晴天に恵まれ、鈴鹿会長以下十三名の参加がありました。

はじめに参加者全員にて正式参拝をし、英霊の御霊が安らかであるよう祈念致しました。





参拝後、宮司宮田康弘様より講話をいただき靖国神社、護国神社の祭祀の基本である招魂や合祀について学び、先人達が如何にして慰霊と顕彰の祭祀に真摯に取り組んでこられたかを学びました。

清掃奉仕は二の鳥居周辺の清掃、芝生の芝刈、除草剤の散布等を中心に行いました。日差しが強い中であつたが、各々が熱中症対策を行いながらケガに注意をしつつ、機械を使用し作業を行った。

神道青年会の会員としてこれからも英霊顕彰事業を大切に、事業を継続してゆきたい。

(檀原神宮 神杉)

去る令和五年九月十四日、檀原市運動公園屋根付き運動場に於いて会員二十二名出席のもと、親睦スポーツ大会が開催され、今年度はフットサルを行った。



9/19

奈良県神道青年会「奈良県神社庁杯親睦スポーツ大会」

大神神社 A チーム、B チーム、檀原石上高鴨連合チームによる総当たり戦を行った。女性のゴールは三点入るという特殊ルールが追加されたため、いかに女性がシュートを決めるかが勝利への鍵となった。各チーム、サッカー経験者の活躍が目立っていたが、それ以上に女性の活躍に目を見張る物があった。残暑の中、熱中症患者やけが人を出すことなく全試合行われ、連合チームが優勝をした。

その後「天まで上がれ大和八木店」にて行われた懇親会で健闘を称え合い、参加者全員で親睦を深める事が出来た。各社女性職員は他社の職員との接点が少ないため、今後こういった活動が増えれば良いのではと思う。

(檀原神宮 伊勢)

11/7

南都聖和会との交流会

去る令和五年十一月七日、南都聖和会（南都六大寺の青年僧侶の会）との交流会が、当会より十三名、南都聖和会より九名が参加のもと、檀原神宮に於いて開催されました。

まず、檀原神宮内拝殿で正式参拝をさせていただき、両会会長の玉串拝礼に合わせて両会同時に拝礼し、交流会の開催をご神前へ奉告致しました。参拝後には、当会OBの長倉権欄直様にご挨拶をいただき、聖和会との交流の始まりについてお話いただきました。昭和五十三年に当会で観月会として雅楽演奏を催した際、当日は雨天で奈良県公会堂の室内での開催となりましたが、偶然隣室でも観月会をされていた南都聖和会の方々に雅楽の演奏を聴いていただいたのが交流会の始まりであったということで、神

仏に結んでいただいたご縁を諸先輩方が繋いで来られたのが、この交流会であると教えていただきました。



次に研修会として、檀原神宮文華殿を奈良県文化財保存事務所の下山様のご案内で見学させていただきました。文華殿は元は柳本藩の織田家の陣屋御殿であり、明治の廃城令に伴い大書院及び玄関部分のみを残して小学校の校舎として使用されていたもので、老朽化して撤去されることを地元の方の働きかけにより、昭和三十九年に檀原神宮へ奉納の上復元保存され、後に重要文化財へと指定されました。現在は保存修理事業中ということで、その基礎部分や枠組みが見える状態であり、建築様式や特徴、今回の修理に伴い開発されたガラスの耐震壁が修理に使用されることなどを説明していただきました。柳本藩は織田家という名族でありながら一萬石の石高しか無く、御殿は江戸城を模した豪華な造りを取り入れながらも、見えにくい部分では安価な木材を使用するなどの工夫が見られ、面白い建築だと感じました。その後は会員の園池権禰宜の案内で、勅使館と宝物館を見学させていただきました。

研修会の後には、両会合わせて三十三名が集まり懇親会を行いました。昨年の交流会では懇親会が開けず、コロナ禍後初となる久々の懇親会ということで大いに盛り上がり、神社とお寺お互いに対する疑問に答え合ったり、両会のこれからの展望を語り合ったりして懇親を深めました。

今回の交流会では、地元の方の働きかけで今に残された文化財を、更に次の世代へ残す為の保存修理の現場で研修させていただきました。今回深めた親交をもとにして、神仏に結んでいただき、先輩方が繋いでくださったこのご縁を、私達も大切に参りたいと思います。

(大神神社 山口)



奈良県神道青年会 令和4年度一般会計決算書

歳入の部

(自令和4年4月1日 至令和5年3月31日) 単位:円

科 目	予算額	決算額	比較増減	備 考
年 会 費	315,000	325,000	10,000	会員年会費 1名5,000円 賛助会員年会費1名5,000円
助 成 金	610,000	610,000	0	神社庁 150,000円 春日大社 100,000円 大神神社 100,000円 橿原神宮 100,000円 葛木坐火雷神社 10,000円 神社庁各支部 130,000円 近畿地区助成金(禊鎮魂鍊成研修会) 20,000円
事 業 収 入	166,000	166,000	0	鎮守の杜頒布
雑 収 入	16,661	5,012	△ 11,649	預金利息等
前年度繰越	1,176,339	1,176,339	0	
歳入合計	2,284,000	2,282,351	△ 1,649	

歳出の部

科 目	予算額	決算額	比較増減	備 考
神 事 費	40,000	40,000	0	定例総会・臨時総会・禊鎮魂鍊成研修会 玉串料
会 議 費	55,000	25,711	△ 29,289	役員会 会議費 湯茶代 Zoom契約料
事 務 費	70,000	64,544	△ 5,456	郵送料他 事務局(諸社)
会 員 派 遣 費	600,000	518,000	△ 82,000	神青協諸行事・近畿地区諸行事・姉妹神青諸行事
負 担 金	210,500	210,500	0	神青協醸出金 82,500円 近畿地区負担金 125,000円 年賀広告費 3,000円
宣 布 費	250,000	35,396	△ 214,604	ホームページ年間維持費
教 化 費	300,000	263,430	△ 36,570	青垣発行 鎮守の杜購入
事 業 費	500,000	212,486	△ 287,514	勉強会 講師料 姉妹神青他
特 別 事 業 費	0	0	0	皇居勤労奉仕「青垣奉仕団」令和4年度中止
雑 費	34,000	13,627	△ 20,373	慶弔費・振込手数料・会計印新調他
予 備 費	224,500	0	△ 224,500	
歳出合計	2,284,000	1,383,694	△ 900,306	

(歳入合計) 2,282,351円-(歳出合計) 1,383,694円=898,657円(次年度へ繰越)

奈良県神道青年会 令和4年度特別会計決算書

収入の部

支出の部

(自令和4年4月1日 至令和5年3月31日) 単位:円

科 目	決算額	備 考	科 目	決算額	備 考
前年度繰越金	4,628,802	令和3年度より	事業品調製費	103,680	大和茶
事 業 収 入	120,000		振込手数料	330	
雑 収 入	39	預金利息			
合 計	4,748,841		合 計	104,010	

(収入合計) 4,748,841円-(支出合計) 104,010円=4,644,831円(次年度へ繰越)

奈良県神道青年会 令和4年度逆境にある人々応援基金決算書

収入の部			支出の部 (自令和4年4月1日 至令和5年3月31日) 単位:円		
科 目	決算額	備 考	科 目	決算額	備 考
前年度繰越金	827,146	令和3年度より			
雑 収 入	4	預金利息			
合 計	827,150		合 計	0	

(収入合計)827,150円-(支出合計)0円=827,150円(次年度へ繰越)

奈良県神道青年会 令和4年度「かたりべまほろば」活動基金決算書

収入の部			支出の部 (自令和4年4月1日 至令和5年3月31日) 単位:円		
科 目	決算額	備 考	科 目	決算額	備 考
前年度繰越金	641,377	令和3年度より	活 動 費	6,000	出向費 1公演1人1000円
雑 収 入	4	預金利息			
合 計	641,381		合 計	6,000	

(収入合計)641,381円-(支出合計)6,000円=635,381円(次年度へ繰越)

奈良県神道青年会 令和5年度一般会計予算書

歳入の部				(自令和5年4月1日 至令和6年3月31日) 単位:円
科 目	前年度予算額	今年度予算額	比較増減	備 考
年 会 費	315,000	300,000	△ 15,000	会員年会費 1名5,000円 賛助会員年会費1名5,000円
助 成 金	610,000	610,000	0	神社庁 150,000円 春日大社 100,000円 大神神社 100,000円 橿原神宮 100,000円 葛木坐火雷神社 10,000円 神社庁各支部 130,000円 近畿地区助成金(禊鎮魂鍊成研修会) 20,000円
事 業 収 入	166,000	161,000	△ 5,000	鎮守の杜頒布
雑 収 入	16,661	15,343	△ 1,318	祝金 預金利息等
前年度繰越	1,176,339	898,657	△ 277,682	
歳入合計	2,284,000	1,985,000	△ 299,000	

歳出の部

科 目	前年度予算額	今年度予算額	比較増減	備 考
神 事 費	40,000	30,000	△ 10,000	定例総会・禊鎮魂鍊成研修会 玉串料
会 議 費	55,000	55,000	0	役員会 会議費 湯茶他 Zoom契約料
事 務 費	70,000	70,000	0	郵送料他 事務局(春日)
会 員 派 遣 費	600,000	600,000	0	神青協諸行事・近畿地区諸行事
負 担 金	210,500	210,500	0	神青協醸出金 82,500円 近畿地区負担金 125,000円 神青協年賀広告費 3,000円
宣 布 費	250,000	50,000	△ 200,000	ホームページ年間維持費
教 化 費	300,000	300,000	0	青垣発行 鎮守の杜購入
事 業 費	500,000	300,000	△ 200,000	勉強会 講師料
特 別 事 業 費	0	75,000	75,000	皇居勤労奉仕「青垣奉仕団」令和6年度
雑 費	34,000	34,000	0	慶弔費 振込手数料他
予 備 費	224,500	260,500	36,000	
歳出合計	2,284,000	1,985,000	△ 299,000	

奈良県神道青年会 活動報告並びに計画書

(自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日)

月	日	内 容	場 所		
4月	14日	神道青年近畿地区連絡協議会 会計監査	露天神社		
	15日	奈良県護国神社春季大祭 助勤奉仕	奈良県護国神社		
	同日	令和3-4年度 第23回理事役員会(新・旧)	大神神社		
	24日	神道青年近畿地区連絡協議会 第5回役員会(新旧合同)	みのお山荘 風の杜		
	25日	会計監査	石上神宮		
	26日	神道青年全国協議会 第22回役員会	神社本庁		
	27日	神道青年全国協議会 第74回定例総会	神社本庁		
	同日	神道青年全国協議会 菊波の友垣会	明治記念館		
	29日	神道青年近畿地区連絡協議会 第1回事業委員会(新)	Web会議		
	5月	10日	令和5年度 定例総会	奈良県神社庁	
同日		同懇親会	橿原神宮養正殿		
13日		神道青年近畿地区連絡協議会 臨時役員会(新)	Web会議		
16日		上皇上皇后陛下奉迎活動	近鉄奈良駅前		
18日		上皇上皇后陛下送迎活動	近鉄奈良駅前		
19日		神道青年近畿地区連絡協議会 第22回事業委員会(旧)	ビストロvinvin上本町店		
25日		第1回理事役員会	橿原神宮		
26日		神道青年近畿地区連絡協議会 第2回事業委員会(新)	トラウム		
29日		神道青年全国協議会 神宮参拝	神宮		
30日		神道青年全国協議会 熱田神宮参拝並びに第1回神宮啓発委員会	熱田神宮		
6月	5日	神道青年近畿地区連絡協議会 第6回役員会(新旧合同)	ホテル阪急インターナショナル		
	同日	神道青年近畿地区連絡協議会 令和5年度定例総会並研修会	ホテル阪急インターナショナル		
	6日	神道青年近畿地区連絡協議会 親睦ボウリング大会	ラウンドワンスタジアム堺駅前店		
	14日	神道青年全国協議会 神宮啓発委員会臨時委員会	Web会議		
	17日	第2回理事役員会	石上神宮		
	20日	石上神宮 稷場清掃奉仕	石上神宮		
	26日	神道青年近畿地区連絡協議会 第3回事業委員会	生国魂神社		
	28日	神道青年近畿地区連絡協議会 第1回役員会	生田神社		
	同日	神道青年近畿地区連絡協議会 顧問参与会	神仙閣 神戸店		
	4日	神道青年全国協議会 第2回神宮啓発委員会	シンフォニアテクノロジー響ホール		
7月	5日	神道青年全国協議会 啓発委員の為の神宮研修会	神宮		
	8日	神話紙芝居団「かたりべまほろば」公演	春日大社		
	12~13日	靉・鎮魂錬成研修会	石上神宮		
	12日	勉強会	石上神宮		
	14日	神道青年近畿地区連絡協議会 臨時事業委員会	Web会議		
	18日	京都・奈良・神宮親善野球大会	伊勢		
	19日	第3回理事役員会	大仏山公園野球場		
	20日	神道青年近畿地区連絡協議会 第4回事業委員会	サローネ西九条		
	8月	6日	神話紙芝居団「かたりべまほろば」公演	橿原神宮	
		7日	第4回理事役員会	橿原神宮	
8日		神道青年全国協議会 第3回神宮啓発委員会	Web会議		
15日		奈良県出身戦没者追悼式 助勤奉仕	奈良県護国神社		
16日		神話紙芝居団「かたりべまほろば」公演	奈良県護国神社		
22~23日		令和5年度 神道青年全国協議会夏期セミナー	神社本庁		
24日		親睦家族会	中井溪谷自然塾		
25日		奈良県神社庁例祭 参列	奈良県神社庁		
28日		奈良県神社庁長杯親睦ゴルフ大会	宇陀カントリークラブ		
9月		4日	神道青年近畿地区連絡協議会 第2回役員会	西宮神社会館	
	同日	神道青年近畿地区連絡協議会 第1回連絡会	西宮神社会館		
	5日	第2回皇居勤労奉仕「青垣奉仕団」推進委員会	Web会議		
	12日	神道青年全国協議会 第4回神宮啓発委員会	Web会議		
	14日	奈良県神社庁長杯親睦スポーツ大会	橿原市運動公園		
	15日	神道青年近畿地区連絡協議会 第5回事業委員会	生国魂神社		
	16日	第5回理事役員会	大神神社		
	19日	英霊顕彰研修会	奈良県護国神社		
	21日	神道青年近畿地区連絡協議会 歴代事業委員会交流会	上本町 杯杯天山閣		
	10月	1日	神道青年全国協議会 第2回臨時神宮啓発委員会	Web会議	
5日		皇室関連施設清掃奉仕	京都御所		
同日		神宮大麻暦頒布始祭 参列	奈良県神社庁		
同日		第1回神宮大麻頒布推進委員会	奈良県神社庁		
12日		第6回理事役員会	橿原神宮		
19日		神道青年近畿地区連絡協議会 第6回事業委員会	サローネ西九条		
21日		第29回全国戦歿学徒追悼祭 奉仕	全国戦没学徒追悼記念「若人の広場公園」		
22日		奈良県護国神社秋季大祭 助勤奉仕	奈良県護国神社		
24日		奈良県神社関係者大会 助勢	橿原神宮		
28日		姉妹神宮三役交流会	Web会議		
11月	3日	第三回皇居勤労奉仕「青垣奉仕団」推進委員会	季節料理 山葵		
	7日	南都聖和会との親睦交流会	橿原神宮		
	16日	第七回理事役員会	大神神社		
	21日	神道青年近畿地区連絡協議会 第七回事業委員会	生国魂神社		
	28日	神道青年全国協議会 第六回神宮啓発委員会	日本文化興隆財団		
	12月	4日	神道青年近畿地区連絡協議会 第3回役員会	湊川神社	
		同日	神道青年近畿地区連絡協議会 第2回連絡会	湊川神社	
		9日	第八回理事役員会	奈良県神社庁	
		同日	役員忘年会	農家酒場とは、てん	
		13日	神道青年近畿地区連絡協議会 第八回事業委員会	鳥谷	
1月		1日	会報「青垣」第60号刊行		
		22日	第九回理事役員会	橿原神宮	
		同日	新春互礼会	じとっこ組合 大和八木店	
		27日	国旗掲揚推進1・27御堂筋パレード	御堂筋	
		2月	22日	大阪・徳島・奈良 三神宮交流会	Web会議
	29日		神宮大麻暦頒布終了祭 参列	奈良県神社庁	
	同日		神宮大麻頒布推進委員会	奈良県神社庁	
	3月		7~8日	神道青年全国協議会 令和5年度中央研修会	札幌プリンスホテル
			12日	神道青年近畿地区連絡協議会 第4回役員会	生田神社会館
			同日	神道青年近畿地区連絡協議会 第3回連絡会	生田神社会館
13日			神道青年近畿地区連絡協議会 地区研修会	生田神社会館	
18日			奈良県神社庁 神職・氏子合同研修会 助勢		
29日			神道青年近畿地区連絡協議会設立30周年記念 親睦ゴルフコンペ	ヤマトカントリークラブ	

令和五年度

新入会員紹介

- ①生年月日 ②座右の銘 ③趣味
 - ④休日の過ごし方 ⑤ひとこと
- ※会員紹介は順不同

大神神社



綿貫 隆光
わたぬき たかあき

- ①平成十二年十月二十日
- ②初志貫徹
- ③音楽ライブ・フェス参加
- ④国内旅行
- ⑤一刻も早く早くお役に立てるよう頑張ります

大神神社



佐草 輔久
さくさ たすく

- ①平成十三年二月十三日
- ②継続は力なり
- ③クロスバイク
- ④買い出し・部屋の掃除
- ⑤色々な人とより良い仲になれるよう頑張ります

春日大社



松村 明洋
まつむら あきひろ

- ①平成十年九月二十六日
- ②日は好日
- ③アニメ、映画鑑賞
- ④睡眠、掃除
- ⑤6月から春日大社で奉仕させていただきます。御指導御鞭撻の程よろしくお願いたします。

檀原神宮



大山 晃弘
おおやま あきひろ

- ①平成十二年十月二十一日
- ②怒りは敵と思え
- ③カラオケ
- ④ドライブ
- ⑤まだまだ至らない部分や未熟な点がありますが、精一杯頑張ります。

談山神社



大塚 智貴
おおつか ともたか

- ①平成六年三月七日
- ②一期一会
- ③映画観賞
- ④Prime Videoで映画やドラマの観賞
- ⑤よろしくお願いたします。

談山神社



青山 裕人
あおやま ひろと

- ①昭和六十三年十一月十二日
- ②縁の下の力持ち
- ③御朱印巡り
- ④一人旅
- ⑤無理なく頑張っていますのでよろしくお願致します。

談山神社



土居 三純
どい みすみ

- ①平成四年四月二十一日
- ②雨降って地固まる
- ③登山
- ④登山
- ⑤日々御奉仕できることに感謝し、精一杯勤めます。よろしくおねがいます。

編集後記

先ずは会報「青垣」六十号発刊に際しご寄稿、ご協力いただきました皆様に心より厚く御礼申し上げます。

さて令和五年度は新たに役員改正がありました。鈴鹿新会長のもと新役員一同諸先輩方の紡がれてきた歴史の一端となれるよう精一杯努めてまいります。

私自身新役員として令和五年度より当会の理事として携わらせていただくこととなりました。若輩者で至らぬ点が多々あるかと存じますが変わらぬご指導ご鞭撻の程よろしくお願いたします。

又、本年令和六年は奈良県神道青年会六十周年の節目となる記念の年にあたります。周年事業として記念式典等進めてまいります。その際には諸先輩方また会員の皆様にご不便、ご迷惑をおかけすることも多々あるかと存じますが、何卒ご理解、ご協力賜りますようお願い申し上げます。
(広報部 青木)

奈良県神道青年会創立60周年記念事業

奈良県神道青年会は昭和39年に結成され、令和6年で創立60周年の佳節の年を迎えます。この60周年を記念して下記の通り事業を計画しておりますので、皆様ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

●記念大会の実施 令和6年9月4日(水) ホテル日航奈良

●記念誌の発行

●特別記念事業の実施

- ・特別御朱印帳並びにガイドブックの作成
- ・神話紙芝居団「かたりべまほろば」新作成
- ・宮崎神青との姉妹神青交流事業
- ・第14回皇居勤労奉仕「青垣奉仕団」実施

奈良県神道青年会
創立60周年記念

第14回皇居勤労奉仕『青垣奉仕団』 団員募集

この度、奈良県神道青年会では、第14回皇居勤労奉仕『青垣奉仕団』を結成致しました。

皇居勤労奉仕は昭和20年12月に時の有志が、空襲で焼失した宮殿跡の整備を申し出たのが始まりです。その後各地団体からも同様に申し出があり、現在では皇居及び赤坂御用地において、連日ボランティアグループや地域の団体、職場の仲間同士等が、除草、清掃、庭園作業などの奉仕を行っています。

4日間にわたる皇居勤労奉仕を通し、日常では味わう事の出来ない経験や清々しい気持ちを体感し、天皇皇后両陛下より御会釈を賜りました折には、青垣奉仕団一同声高らかに「聖寿万歳」を申し上げ、御皇室の御安泰、国家の安寧及び世界の平和を祈念致したく存じます。ぜひこの機会に、お1人でも多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

●実施予定日 令和6年9月16日(月・祝)～20日(金)を第一候補日として申請を致します。【奉仕は17日～20日の4日間】

(上記日程にて奉仕団体申込多数の場合は宮内庁にて抽選が行われる為、日程が変更になる場合がありますので、ご理解の上お申し込み下さい)

●参加費 150,000円(予定)《交通費・食費・宿泊費等》

●募集人数 40名

●参加資格 年齢15歳以上75歳以下(奉仕日時点)

皇居内の徒歩移動や清掃作業を行うため、ご自身の健康に責任を持てる方。(砂利道や急勾配の坂があり、作業場所によっては1日5km程度歩き、作業を行う場合もあります。)

●申込締切 令和6年2月26日(月)※尚、定員集まり次第締め切らせて戴きます。

●お申込み 参加ご希望の方は担当者にお気軽にお問い合わせ下さい。

(お問い合わせ)

○春日大社 〒630-8212 奈良市春日野町160

☎0742-22-7788 FAX. 0742-27-2114

担当：佐野 弘之

○大神神社 〒633-8538 桜井市三輪1422

☎0744-42-6633 FAX. 0744-42-0381

担当：石野 一信

○橿原神宮 〒634-8550 橿原市久米町934

☎0744-22-3271 FAX. 0744-24-7720

担当：阿部 裕也

○等彌神社 〒633-0091 桜井市桜井1176

☎0744-42-3377 FAX. 0744-42-3377

担当：尾田 交之